

平成21年1月16日

名古屋鉄道株式会社
鉄道事業本部長 様

西尾市副市長 大 竹 茂 暉
蒲都市副市長 足 立 守 弘
吉良町副町長 鈴 木 誠
幡豆町副町長 星 野 力

地域交通体系への名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）の位置づけについて

このことについて、別紙のとおり回答いたします。

回 答 書

名鉄西尾・蒲郡線は、名古屋本線新安城駅からＪＲ東海道本線蒲郡駅を結ぶ、三河地方南部の広域ネットワークを構成する重要な路線であります。なかでも、西尾駅から蒲郡駅までの間は、高校生や高齢者など他に移動手段を持たない住民にとって欠かすことのできない路線であると認識しています。

この路線は、高校生など定期乗車券での通学者が平成１９年度実績で、年間１４８万人を超えるなど、利用者の半数を占めています。路線の廃止によって、希望する高校への進学がかなわず、人生の選択肢が狭まってしまっは、希望に満ちた子ども達の夢を摘んでしまうことにもなりかねません。

自動車交通への過度の依存は、環境への負荷や交通渋滞、中心市街地の空洞化など様々な問題の一因となっています。愛知県では２００５年に環境をテーマとした愛知万博を実施し、さらに２０１０年には生物多様性条約第１０回締約国会議（ＣＯＰ１０）を開催します。その地元として、他の輸送手段に比べ、格段に環境にやさしい鉄道を存続させることは責務であると考えます。

これらのことから、この地域にとって必要不可欠な名鉄西尾・蒲郡線の存続のために、御社では公共交通機関としての使命を再確認されるとともに、国、県の積極的な参加の下で他の沿線自治体にも参加を呼びかけ、組織を充実して、利用者増対策と路線の存続に向けた具体的な協議を進めていくべきであると考えます。

平成２１年１月１６日

名古屋鉄道株式会社
鉄道事業本部長 様

西尾市副市長 大 竹 茂 暉
蒲都市副市長 足 立 守 弘
吉良町副町長 鈴 木 誠
幡豆町副町長 星 野 力